

■五代友厚 実業家。近代政商を先駆し、関西財界を指導、「東の渋沢・西の五代」「大阪発展の恩人」と言われる。

ごだいともあつ

滑稽+人情本 1835= 薩摩国鹿児島城下で、薩摩藩の名門の儒官の次男に生まれる。

大塩平八郎乱 1837= 2歳：
質実剛健を尊ぶ薩摩の気風に育ち、

天保改革始・1841= 7歳：児童院の学塾に通い、

天保改革終・1844= 9歳：

阿部正弘首座 1845=10歳：

孝明天皇・・・1846=11歳：聖堂に進学して、文武両道を学ぶ。

・・・・・・1848=13歳：_琉球交易掛を兼ねていた父から、初めて世界地図見せられ、その模写する役を引き受けて、夢を広げる。

ペリー来航・1853=18歳：

開国開港・・・1854=19歳：_初めて藩に出仕して、郡方書役になると、
_藩侯に建白書を出して、学生を留学すべしと主張、

蕃書調所・・・1857=22歳：_選ばれて長崎の幕府海軍伝習所に留学、航海、砲術、測量および数学を学ぶ。

五ヶ国条約・1858=23歳：_藩費でドイツ船を購入して帰藩、その船長格として働き、

安政の大獄・1859=24歳：_再び長崎に研修に出た際、上海に密航して世界情勢を知り、富国強兵論を説く。

桜田門外変・1860=25歳：

生麦事件・・・1862=27歳：

薩摩藩士密航 1865=30歳：_*自ら建言して藩命を受け、幕府の目を盗んで留学生20名を引率し、ヨーロッパを視察、

薩長同盟・・・1866=31歳：_紡績機械と武器・弾薬を購入して、帰国。御納戸奉行格に任じられ、藩の産業経済の近代化をリード、

維新の動乱には、通商や武器の売込みなどで活躍し、

明治維新・・・1868=33歳：_新政府成立後、外交官職を歴任、大阪府判事まで昇進したが、贅沢しているという噂が薩摩藩で広がり、

戊辰戦争終・・・1869=34歳：_*突然左遷されると、下野。英語普及のため、上海に英和辞書を大量発注印刷。大阪に金銀分析所を設立、

公共的事業をしながら、巨利を手にするなど、鉱山業に乗り出し、大隈重信からの政界復帰勧誘も辞して、
_不振に陥っていた長崎時代の友人本木昌造の活版所を引き取って、大阪に新活版所を開いたり、堺に紡績会社を創設したりしながら、各地に鉱山を開いて鉱山経営を行って、たちまち鉱山王となり、

廃藩置県・・・1871=36歳：

明治6年政変 1873=38歳：_全事業を統括すべく、東京に{東弘成館}を、大阪に{西弘成館}設立、三井・三菱を超える組織をつくる。

佐賀の乱・・・1874=39歳：_政府の大阪会議開催に当たって、自邸を会場に提供、

三つの反乱・1876=41歳：_外国藍の輸入を防止すべく、朝陽館という大製藍工場を設立して、藍の製造販売を行う。

堂島米商会所を創設後、

大久保暗殺・1878=43歳：_*大阪株式取引所の設立に率先して尽力、さらに中野梧一・藤田伝三郎・広瀬幸平らと大阪商法会議所を設

立して会頭に選ばれるなど、関西財界で活躍、「大阪の発展の恩人」といわれるようになる。

・・・・・・1880=45歳：_大阪市立大学の前身大阪商業講習所を設立、東京馬車鉄道会社を設立に尽力、

明治14年政変 1881=46歳：_大阪製銅会社を設立して銅の加工業に、関西貿易社を設立して対清・北海道貿易にも乗り出し一方、開拓使官有物払下事件で裏面が暴露されるなど、政府の実権者大久保利通と結合し、政財界に勢力をのばす典型的な政商の一人でもあった。

秩父事件・・・1884=49歳：_阪堺鉄道会社の創立や、この年開業した神戸棧橋会社の設立にも尽力し、交通の発達にも努めたが、

内閣発足・・・1885=50歳：_*大酒の崇りで糖尿病となり、没した。